



先生のおすすめ絵本

スイミー ちいさなかしいさかなのはなし

〈作〉レオ=レオニ 〈訳〉谷川俊太郎 〈出版〉好学社



誰もが知っている「スイミー」のお話です——

小さな赤い魚の兄弟たちの中で、1匹だけ真っ黒の魚“スイミー”。そこへ大きなマグロがやってきて、兄弟たちを飲み込んでしまいます。逃げられたのはスイミーだけ。

ひとりぼっちになって怖くて、さみしくて、悲しくて... けれどいろいろな海の生き物たちと出会い、スイミーはだんだん元気になっていきます。あるとき、岩陰にスイミーの兄弟たちとそっくりな赤い魚たちをみつけ「遊ぼう！」と声をかけますが、大きな魚に食べられてしまうことを恐れ出てこようとしません。何かいい方法はないかとスイミーは考えて...

知恵をしぼり、小さな魚が大きな魚を追い出す場面や、スイミーのセリフ「ぼくが、めになるう」のところでは、見ていた子ども達から「わあー！」と声があがるほどでした。

「みんなで力を合わせれば、大きな力になる」この絵本を通して感じると共に、内容もさることながら、絵がとても素敵で美しい一冊です。今では、小学校の教科書にも載っているお話なので、これから先もずっと読み継がれてほしい作品です。

〈ふじ組 S先生〉

ボートにのって

〈作・絵〉とよたかずひこ 〈出版〉アリス館



『でんしゃにのって』の「うららちゃん」が、今度はお父さんと一緒にボートに乗るお話です。うららちゃんの小さな声で歌ううたに誘われるように、池の生きものたちがボートに遊びに来ます。

優しく楽しい絵にのって驚きや嬉しさを繰り返し味わっていくうちに、どきっとしたり、なんだかさみしいような、ほっとするような感じがしたり、いろんな気持ちにしてくれます。

子どもたちといっしょに読んでみると、「おひさまほかほか かぜそよそよ」と、ほのほの日向ぼっこしながらお昼寝しているような気になりました。

〈つばめ組 O先生〉

読み聞かせノートより

わんぱくだんのにんじゃごっこ

〈作〉ゆきのゆみこ・上野与志
〈絵〉末崎茂樹
〈出版〉ひさかたチャイルド



わんぱくだんの3人がにんじゃごっこをしていたら、むかしのおさむらいさんの時代にタイムスリップ！天守閣にいる姫を助けるために石垣をのぼる。天守閣につくとしゅりけんで敵に攻撃され逃げるために、けんだまとロープを使って逃げているとロープが切れ元の世界へ。

お城の絵などをじーっとみてくれて「ロープを使って逃げればいいんだよー」と一緒に冒険してくれました。

〈たんぼぼ組 Uさん〉

パンダ銭湯

〈作〉tupera tupera
〈出版〉絵本館



パンダ銭湯はパンダしか入れない銭湯でパンダが入浴するお話です。

ただ入浴するだけですが、そこにパンダの秘密が！！パンダの目の周りが黒いのは、サングラスをかけているからで、体の黒い部分は着たりぬったりで、入浴する時は真っ白に。ふじ組のみんなも白くなったパンダをみてびっくりしていましたが、サングラスを装着する時、一緒に「チャ！」と言ってくれたり、楽しんでくれていました。

〈ふじ組 Wさん〉

※紙面で紹介している絵本の表紙画像の掲載には、出版社の許諾をいただいております。



編集後記

9月から2ヶ月かけて練習をした人形劇「ももたろう」。参加・協力していただいた皆様、当日観てくれた子ども達・保護者の方々・先生方、本当にありがとうございました。我が息子からは「笑うところがなかった」と辛口評価されましたが、桃太郎とタッチをして笑顔の子、鬼を見て固まる子などなど、たくさん子ども達と触れ合うことができ幸せな1日でした。

〈さくら組 E〉